

平成21年度
第1回 温海地域審議会
会議録（概要）

期日：平成21年6月2日（火）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

平成21年度 第1回温海地域審議会 会議録（概要）

- 期 日 平成21年6月2日（火）午前10時～正午
- 場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室
- 出席委員 本間文夫委員、佐藤重夫委員、柴田実委員、齋藤守峰委員
三浦仁委員、今野久良委員、魚住芳郎委員、佐藤美代子委員
榎本五郎治委員、齋藤徹委員、齋藤金一委員、本間紀美子委員
- 欠席委員 榎本満委員、五十嵐孝昭委員、佐々木真人委員、佐藤小一委員
五十嵐時雄委員、五十嵐安貴委員、劔持孝一委員、佐藤満也委員
- 市側出席者
〈温海庁舎〉 温海庁舎支所長、各担当課長、総務課総務地域振興班職員
〈本 所〉 総務部長、調整第一課長、調整第二課長、政策調査課長、宮崎主査
五十嵐調整主任

— 辞令交付 —

— 地域審議会委員紹介 —

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 支所長あいさつ

（市側出席者自己紹介）

4. 報告事項（議長：本間文夫会長）

- （1）平成21年度予算の状況及び事業の概要について（別冊資料1・2）
- （2）地域コミュニティ活性化の取組みについて（別冊資料3）
- （3）農業農村課題調査の実施について（別冊資料3）

○本間文夫会長 それでは説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。ご質問がある方は挙手でお願いします。本間紀美子委員お願いします。

○本間紀美子委員 前年度も林業センターの2階集会室のブラインド修繕を要望させていただきました。産業課長の答弁では今後の年度計画に組み入れて進めるということでしたが、近い年度に計画されていますか。また、市役所本所では環境対策事業とし

てゴーヤのグリーンカーテンに取り組んでいるようですが、ご検討をお願いします。

○本間文夫会長 ただいまの質問について、産業課長より答弁をお願いします。

○産業課長 年度計画の中で平成21年度にブラインド修繕を計画しておりました。ブラインドは天井から下がる長いものでかなり悪くなっており、上側と中段から下側までのブラインド修繕を計画し、それによって当初計画予算を下回った事業費で計画できましたが、財政状況により平成21年度は予算化できませんでした。強い日差しによる厳しい使用条件にあることも理解しております。引き続き年度計画に組み入れてまいります。

○本間紀美子委員 できるだけ早めの計画になりますよう期待しております。

○本間文夫会長 建設環境課長、お願いします。

○建設環境課長 このゴーヤのグリーンカーテンには二つの効果があります。一つはエアコンに頼ることなく室温を下げる効果、もう一つはエコ活動に取り組んでいるという外部に対するアピール効果です。庁舎では、ふれあいセンターの会議室に昨年同様にゴーヤのグリーンカーテンを試験的に実施します。今年度は学校に呼びかけをして、学校でも若干取り組まれるようです。まだ試験段階で手入れの問題、外観・美観の問題、あまりに高い場所ではできないという建物の構造上の問題などがあります。状況を判断しながら、ここならできるといところで取り組む事業と考えております。実施することによって、自分たちも他の人たちもエコに対する認識を高めましょうという観点で今後広めてまいります。

○本間文夫会長 他にございませんか。佐藤重夫副会長、お願いします。

○佐藤重夫副会長 鼠ヶ関小学校の建設では、地域材を使おうと、鶴岡の森再生構想として取り組み、山林所有者の方々、工務店、大工さん、製材加工業者も含めて大変効果がありました。子供たちにも、木のぬくもりや健康などいろいろな面で効果があると思います。統合保育園の建設計画と温海地域の森林資源の活用も含めて考え方をお聞きしたい。また、国・県・市から森林組合に雇用を場を期待されており、今回の緊急雇用でわずか6ヶ月という短い期間ですが、地域の方を雇用しようと、5名のうち4名を地域から雇用しております。地域の森林保全と観光資源のために一生懸命に頑張っております。今、地域社会が大変な時期でございます。資源の活用も含めた雇用の場としての活用を進めていただきたい。

○本間文夫会長 市民福祉課長、お願いします。

○市民福祉課長 統合保育園の建設計画と地域材の使用について、近年建設された鼠ヶ関小学校、それ以前の旧温海町時代からも公共施設に地元材を優先的に使用するという考えがありました。これから法人で設計業者を決め、建設検討委員会の委員のご意見等も入れながら設計されていくこととなります。私も委員になっておりますので、ご要望を伝えてまいります。

○本間文夫会長 どなたかございませんか。三浦仁委員、お願いします。

○三浦仁委員 統合保育園建設事業については、今年度の事業費として設計費や地質調査費として当初の100万円の事業費を690万円に増額していただきました。平成23年度開所を目標に市からも特段のご配慮をお願いしたい。事業内容はかもめ保育園と長徳寺保育園の統合となっておりますが、最近の少子化の急激な進行と併せて、今後の入所児童の減少など、保育園の経営は非常に厳しいものがあります。従来为学校区に一つの保育所という考え方の見直しせざるを得ないかと協議を重ねてまいりました。統合保育園については、学校区のエリアに五十川保育園・山戸保育園も入れて理事会等で検討してまいりました。ご理解いただきたい。温海杉の使用の要望がありました。法人内部でも平屋建ての木造を前提に検討されていますが、まだ決定段階ではありません。

○本間文夫会長 ただいまは計画されている保育園に山戸保育園・五十川保育園も含めてということと、公共工事には地元材を使用させていただきたいということの要望です。ほかにございませんか。柴田実委員お願いします。

○柴田実委員 温海地域には全国的に知られているものが三つあります。一つは観光地である「あつみ温泉」という名前、二つ目は「しな織」という伝統工芸品、三つ目は農産物である「あつみかぶ」です。はじめに伝統工芸品である「しな布」の糸をうむ後継者が足りておりません。この不景気にしな織が大変よく売れております。今後の見通しをお聞きしたい。それから、「あつみかぶ」ですが、一霞には今の時期でもかぶ漬けを出している方がいます。売る側からすればより長く販売したいというのが本音です。おいしい季節だけ売ろうという考えもあって、考え方は二通りです。特産品だからできるだけ長く販売できるようにする考え方をお持ちでしょうか。次に日沿道の仮称温海インターチェンジです。インターチェンジの名称が温海インターチェンジになると、あつみ温泉インターチェンジになるとでは経済効果が違います。インターチェンジの名称についての情報をわかる範囲で教えていただきたい。

○本間文夫会長 ただいまは3点ほどありました。しな織の需要はたくさんあるが糸をうむ後継者が足りない、その見通しについて。あつみかぶを特産品としてできるだけ長く販売できないかということ。インターチェンジの名称についてどうなっているか。関係課長、答弁をお願いします。

○観光商工主幹 第一点目のしな織について、しな布の状況については需要が非常に多いのですが、全体的には後継者不足している実態は理解しています。村上市山北と共同で構成している羽越しな布振興協議会があり、その通常総会でも今後の後継者問題、技術・技法の記録の収集、保存、原材料の確保が話題になりました。今後、国・県・市の支援を受け、研修生を視野に入れた雇用の拡大や後継者育成、原材料の確保に努めることを総会の席でも確認されております。しばらく時間はかかるかと思いますが、よろしくご指導願いたい。

○産業課長 二点目のあつみかぶについて、温海地域では特産品・ブランド品と位置づけております。生産者はJA庄内たがわとの契約栽培を進め、併せて、JA庄内たがわのかぶ部会では生産から収穫までの部会活動を進めております。温海地域では差別化を目指し、少しでも価格が上がるように杉の伐採跡地でかぶを栽培しております。いわゆる特別栽培です。7月から準備を進めて10月・11月頃に収穫に入り、かぶの一番旬な時期に販売します。現在でもかぶ漬けが販売されているのは、たぶん越冬されたかぶを春先に収穫して漬けたものと思います。旬の時期で一番おいしい時期に極力保冷を保ちながら長い期間販売することも、かぶ部会と研究しながら進めてまいります。通年販売がされている方もおりますが、さらに旬の時期、おいしい時期、通年販売できるかもさらに研究してまいります。

○建設環境課長 インターチェンジの名称について、仮称「温海インターチェンジ」を「あつみ温泉インターチェンジ」にしていきたいということは、合併前からの地域の強い要望で、昨年度は6,000名を超える署名が集まり、市長までその署名を上げながら関係団体長が要望しております。いろいろな機会をとらえて国並びに県の関係者にも要望しております。ただし、インターチェンジの名称が決まるまでには一定のルールというか段階がありまして、国から聞いたところ、供用開始の一年くらい前に国と県が会議を行って正式決定されるそうです。それに先立って鶴岡市に意見聴取するようです。鶴岡市としては今までの経過を踏まえて、地域の声を反映した意見を出すと思います。しかしながら、それは決定ではないので、最終的にどうなるかは明言できません。国の担当者の話によると、温泉名をインターチェンジの名称に付けるというのは全国では例がないことで、前にそういう動きがあった際にそれは一定の産業に対する偏った公共施設の名称ということで、ストップされた経過もあったようです。そういう状況ではありますが、地域の強い要望ということで上げていく気持ち

を持っております。

○本間文夫会長 柴田委員よろしいでしょうか。地域活性化インターチェンジということで五十川と三瀬と鶴岡西の3本がありますが、これも仮称になっているのでしょうか。

○建設環境課長 その名称については未定です。

○本間文夫会長 ほかにございませんか。今野久良委員お願いします。

○今野久良委員 P T A関係について3点ほど発言をさせていただきます。第一点目は子供たちの登下校を安全に守っていただいている見守り隊にこの場をお借りして感謝を申し上げます。温海地域で大きな事件や事故がないことも見守り隊の力が大きいと思っています。第二点目ですが、かもめ保育園と長徳寺保育園の統合のことについて、平成23年度を開所予定に旧温海中学校跡地に建てられるということですが、冬は非常に風が強い場所です。湯温海方面から温海小学校に通学する小さい子供たちも冬期間は難儀して通学しています。園児が安心して通えるように、統合保育園の風対策を十分お考えいただきたい。第三点目ですが、温海地域には六つの小中学校があり、各学校に設備とか通学路とか子供たちに危険な場所があるようです。P T Aと学校から当局に要望させていただきますので、当局でそれを踏まえて子供たちのためにぜひご尽力をお願いします。

○本間文夫会長 今野久良委員からは子供たちの登下校の見守り隊がしっかり頑張っていることで事故もなく見守り隊の力が大きいということと、統合保育園が旧温海中学校跡地に建設予定ですが、そこは風が強いので風対策をしっかりしてほしいということ、子供の通学路に危険なところがあるということの三点が出されました。二番目の統合保育園予定地の旧温海中学校跡地の風対策について、市民福祉課長、お願いします。

○市民福祉課長 4月1日にあつみ福祉会に統合保育園建設計画検討委員会が設置され、5月28日に第一回の委員会が開催されました。委員会でも風が強い場所だということで、委員の方からもいろんなご意見がありました。現時点ではほかに適当な候補地がないようで、委員からは風対策を考慮した上で建設をというご要望が大多数でした。今後、設計業者が決まっていく段階で協議され、計画に盛り込まれていくものと思っております。また、5月14日に庁舎内の関係課で構成する土地利用や保育園の周辺整備も含めた調整会議を行っております。国・県の補助事業がなく、風対策としての市民農園や盛土、竹林、公園などの意見が出ましたが、時間をかけながら検討してまいります。

○本間文夫会長 通学路の危険箇所について、教育課長お願いします。

○教育課長 小学校・中学校の設備・通学路の危険箇所等の点検について、現在、市全体で小学校40校、中学校11校の併せて51校となっています。それぞれ学校の整備計画に基づき、年に数校の改築等と併せて耐震補強に取り組んでおります。毎年、年度当初に学校と教育委員会で通学路の安全点検並びに設備等を点検し、地域内の校長会あるいは教頭会でご要望をいただきながら年次的に進めておりますので、PTAからもご意見をいただきながら、危険箇所の解消に努めてまいります。

○本間文夫会長 ありがとうございます。ほかにございませんか。斎藤徹委員お願いします。

○斎藤徹委員 平成21年度の地域コミュニティ活性化の取組みについて、当地域では四地区に分かれて、自治会と連携して地域コミュニティを行っています。昨年度まで職員が地区公民館に入り、地域住民と連携を重ねてきましたが、最近は撤退したようですが、今後、当地域の四地区制をどう考えているのかお聞きしたい。また、体育協会でも今後の組織改革の中で、地域性をどう行政と関わりをもっていくのかを苦慮しております。今後、温海地域での取組みをお聞きしたい。

○本間文夫会長 地域コミュニティに関して、温海地域には第一地区から第四地区までありますが、それぞれの地区に地区公民館主事が一人ずつ常駐しているわけで、私の認識では引越されたという認識はしていませんが、教育課長、説明お願いします。

○教育課長 地区主事の業務に関して、各地区に地区主事を常駐して取り組んできました。現在、ふれあいセンターから出張する形と併せて取り組んでおります。今後とも必要に応じて、各地区公民館の整理や職員数、それを考慮した地区公民館のあり方についても地区公民館長の方々と議論を重ねてまいりたい。温海地域の地区公民館のあり方については、各自治公民館への支援を充実させる方が良いのか、あるいは今後の人口減少や過疎化を含めて地区単位に支援した方が良いのか、先程、政策調整室から説明された調査の中でいろいろな諸課題が見えてくると思いますが、現時点では、自治公民館のこれまでの充実した活動からも、温海地域にとっては今の形が良いのではないかと思います。各集落の規模によりまして各自治会の地域コミュニティ自体も揺らいでいる現状もありますし、それらと併せて地域コミュニティと公民館活動と併せて検討していかなければならない大きな課題と認識しております。

○斎藤徹委員 今の説明で方向性はわかりましたが、今後、高齢化社会になっていく中で、各自治会の総会等にアドバイザー的に行政職員が出てみてはどうか、いろんな法

律や条例などのアドバイスも必要になるかと思えます。今後、考えていただきたい。

○本間文夫会長 齋藤金一委員お願いします。

○齋藤金一委員 緊急雇用対策に関して、漁協でも鶴岡市から魚食普及や学校給食のメニュー開発、新たな加工品開発の委託を受けて、由良の水産加工所では2名の求人をハローワークに募集しています。先程の説明で1年以上3年まで更新ができるようですが、3年後に景気が良くなって転職しやすくなれば良いのですが、先のことはわかりません。2年3年経てば一通り仕事を覚えるようになります。その時点で本人が転職したいのであれば良いのですが、本人も残りたい、委託先でも引き続き雇用したいという場合に、ふるさと雇用再生では人件費を補充していただいていることから、全額ではなくてもある程度の支援をして雇用機会を増やすような対策を3年後に向けて検討していただきたい。

○本間文夫会長 要望と受け取ります。本間紀美子委員お願いします。

○本間紀美子委員 地域活性化の要望としてお願いします。温海地域では春にさくらマラソン大会が開催され、夏にはトライアスロン大会が計画されています。秋は学区の運動会や各集落の秋のイベントとか文化的行事が集中されています。秋の時期に新たにスポーツイベントを計画するのは難しいと思います。冬には温泉卓球 in あつみが5周年を迎えて開催されました。これまでに県内各地からこの時期200人以上参加されて、温泉宿泊が参加条件なのが大変ありがたいと感じております。どのイベントも地元開催地になると、関係者がたいへんご苦労するわけです。イベントには今後も行政からのバックアップをいただき、さらに交流人口の拡大とか、あつみ地域への誘客に向けた新しいイベントを推進していただきたい。来週末のバラ園まつりについて、6月の広報と一緒にこのようなカラフルな案内が届きました。広報誌でも情報掲示板でも案内されていましたが、この案内は市全域に配布されるのか、この地域に限られているのか、人が集まる場所にはポスターが掲示されているのか、確認してさらに誘客につながるようお願いします。

○本間文夫会長 ポスターの件についてお答え願います。

○観光商工主幹 ばらまつりのポスターについては、市内全域、主な商店、宿泊施設、コンビニ、報道機関等にも周知したと聞いております。また、市の広報ですが、温海地域には全戸配布しております。これからも大勢のお客様が来られるように事前の周知にこれまで以上に努めていくよう、指導してまいります。また、温泉卓球の件ですが、2月の閑散期に200名を超えるお客様が温海温泉に宿泊していることも認識し

ております。地元の旅館でも2月の閑散期に多くのお客さまが宿泊していただいていることを喜んでおりますし、これからもいろいろなスポーツイベントを誘致していきながら宿泊につなげていきたいと頑張っていくと思います。

○本間紀美子委員 今後も行政からのバックアップをよろしく願いいたします。

○本間文夫会長 それでは、時間になりましたので、このへんで質問を打ち切りたいと思います。平成21年度の事業及び予算は、鶴岡市の中に埋没せずに元気なコミュニティとして温海が頑張る内容だったと認識しております。それでは以上をもちまして議事を終了したいと思います。本日はありがとうございました。

5. その他 (特になし)

6. 閉 会